

2019年9月28日～2019年10月4日

2019年10月8日

### 先週の回顧

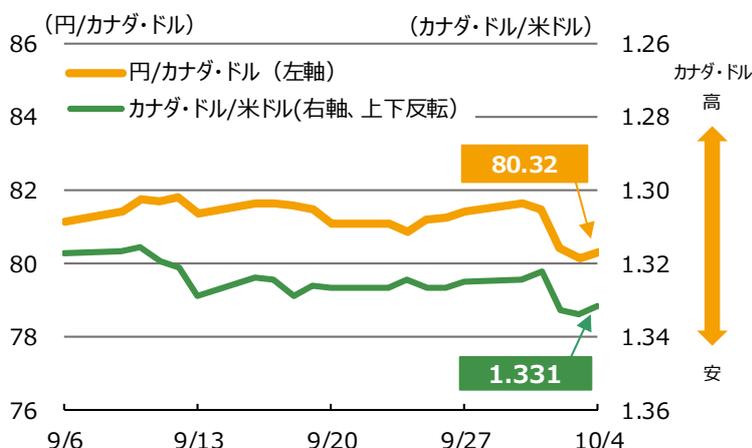
カナダ・ドルは、対円で下落しました。また、カナダ5年国債利回りは低下しました。

カナダの金利は、米国の経済指標が悪化したことから米債利回りが低下したため、それに連れて低下圧力が強まりました。カナダ・ドルは原油価格が下落したことなどを背景に、対円で下落しました。

経済指標ではGDP（国内総生産）が発表になっており、市場予想を下回る結果となり相場を下押ししました。

### カナダ・ドル 為替推移

(2019年9月6日～2019年10月4日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 今週の見通し

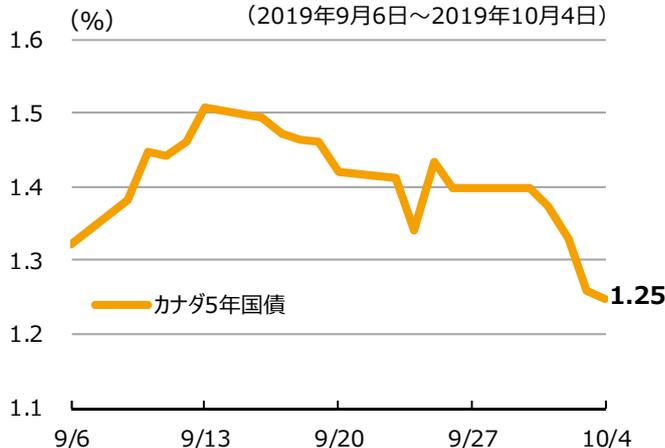
今週、カナダでは雇用統計の発表が予定されています。雇用者数の増減（前月比ベース）に関して、前月から伸びは鈍化するものの、増加することが見込まれています。また、住宅関連指標の発表も複数予定されています。

米国ではCPI（消費者物価指数）や9月分のFOMC（米国連邦公開市場委員会）議事録の発表が予定されています。

また、今週末に米中通商協議が控えており、相場を動かすことが想定されるので、協議の行方に注目が集まります。

### カナダ 金利推移

(2019年9月6日～2019年10月4日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。